

Shimane 島根県

島根大学医学部附属病院 島根県がん登録室
中林 愛恵

島根県の特徴

島根県は中国地方の日本海側にあり、東西に長く、海の幸に恵まれた隠岐諸島があります。人口約69万人、全国的にも65歳以上人口割合が高いです。7つの2次医療圏に国指定のがん診療連携拠点病院が5 病院整備されており、がん医療の中核的役割を担っています。また、島根県は島根県がん診療連携推進病院、がん診療連携拠点病院に準じる病院、がん情報提供促進病院をあわせて22病院指定し、中山間地が多く占める県土で、高齢者を中心にどこに住んでも安心して暮らせる地域づくりを図っています。

島根県がん登録の歴史

島根県では、2010年にがん登録事業を開始し、今年で7年目です。スロースターターですが、国立がん研究センターをはじめとする先生方のご指導と医療機関の協力のおかげで順調に事業を軌道に乗せることができました。

はじめは2007年診断分の登録票を既に院内がん登録を行っていた8病院から収集しました。2010年に地域がん登録への提出協力を要件として県が22施設を指定したため、2010年以降の診断症例の提出が増加しました。

登録開始時から病院および診療所全てを対象として遡り調査を行っています。初年度の2007年はそれ以前の登録票がないため、死亡診断書ではじめてがんと把握した割合が高く、DCN割合34.8%、DCO割合5.2%、IM比2.57でした。しかし、翌2008年にはDCN割合の基準を満たし、MCIJ全国推計に採用されました。最新集計の2013年はDCN割合12.6%、DCO割合3.7%、IM比2.29と順調に精度を維持しています。

当初から標準登録項目と地域がん登録標準データベースシステムを導入しており、全国がんデータベースへの移行も無事に行われました。

登録室紹介

登録室業務は島根大学に委託され、島根大学医学部附属病院内に登録室が設置されています。独立した部屋で入退室管理を行い、医師1名実務者5名で登録業務を行っています。スタッフ同士で、疑問に思ったことは、公衆衛生の専門家や病理医に相談しています。➤



島根県がん登録室のスタッフ



島根連許諾第4296号
しまねっこ

しまねのがん登録室を
よろしくにゃ

島根県の取り組み

がん登録事業を円滑に進めるためには、行政、医療機関そして実務者の協力が不可欠です。連携をはかるために、次のような取り組みを行っています。

島根県がん登録部会と審査委員会

公衆衛生の専門家や登録事業参加病院の医師や実務者が部会員である島根県がん登録部会を設置しています。部会では、登録事業の年間計画や報告書の作成・承認などを行い、登録事業の円滑な推進と情報利用の推進をはかっています。

全国がん登録にむけて、がん登録情報をより適切に守るために、2015年からがん登録審査委員会を別に設け、登録データの利用審査などを行っています。

島根県がん登録研修会

2008年から県内の実務者向けに、実務者の育成と継続的な専門知識向上のため、島根県がん登録研修会を開催しています。島根県がん登録部会実務担当者研究会の実務者が企画・運営に携わり、詳細な院内がん登録にも対応できるよう、標準登録様式や病期分類を学んでいます。

がん検診への活用

がん登録データをがん検診の胃・大腸、肺、乳、子宮がん部会に紹介して、がん対策への活用をはじめています。

最後に

ようやく7年分のデータが蓄積し、生存率も算出できるようになってきましたので、活用することが課題です。

これからも皆さまのご指導を賜りますよう、お願いいたします。